

9月号

第308号

いっしん

平成22年(2010年)

自分がここに
こうして在ることは
ただ在るのでなく
おかげで在るので
あります

甘木親教会
初代親先生の教え

発行：金光教加治木教会 〒899-5213 鹿児島県始良市加治木町朝日町130 発行責任者：矢野文枝 TEL 0995-62-2895
Mアドレス konko.m.kajiki@ksj.biglobe.ne.jp ホームページ http://www.7a.biglobe.ne.jp/~konkokajiki

甘木親教会二代教会長 安武文雄大人 十五年祭 平成22年12月23日(祝)

甘木親教会初代教会長 安武松太郎大人 六十年祭 平成23年2月4日(金)

加治木教会 布教六十年記念大祭 平成23年 5月 29日(日)



第六十三回 少年少女全国大会参拝

今年も全国大会を迎え、よろこびの「お礼参拝」として取り組みませ

ていただきました。

そうして全教の「わかば」がご豊地に集い、日々の、教会や学校・家庭・地域社会での活動の成果、また成長のあかしを、親神様・金光様へのお礼として現し、参拝・参加する人、お手伝いの御用に奉仕する人たちが、それぞれに祈りと理解を深め、みんなでも全国大会が築かれ、共に育ち合うことができ行くことが願われて今年も全国大会が開催されました。

そのような願いを、参拝させていただく一人一人が、お世話を祈り支えている一人一人が、自覚し願いが成就することを真剣に考え、取り組むことができたでしょうか。

夏休みの楽しみ、よき想い出で終らせるだけでは勿体ないのです。

尊い貴重な、またとない、よろこびの「お礼参拝」ということを、来年に向けここからまた心がけて行きたいものです。

(全国大会参拝 4〜6ページ)

第63回少年少女全国大会… P1・4〜6
甘木親教会 祈願祭… P2

「おかげ」を伝える… P3〜4
教会行事 … P8

甘木親教会 祈願祭 仕えられる

七月十七日(土)甘木親教会では、爽やかな夏空に恵まれ安武親先生ご祭主のもと祈願祭が仕えられました。



ご祭典後のご教話では、小野田市教会長 宮本和昌先生が、「このお道の神様は人材が育つことを願われる神様である」という旨のお話しを、下のような内容を足がかりに六十分にわたりお話しされ、道を思う心が育つことの大切さを意義深い内容でした。

また、神様が助かられお喜びにな

られ、親先生がお喜びになられ、真の人生行路を正しく確かに歩むことができるこのお道の信心の尊さを、甘木初代のみ教え『教語』をもとにお話になられました。

*

【小野田市教会長 宮本和昌先生冒頭のお話し】
祈願祭のパンフレットができています。そこに奉迎委員長のご挨拶があります。そこに奉迎委員長のご挨拶があります。

きちんと読ませていただいでご祭典を迎えさせていただくと、知っておつても再確認させていただくと気分も違います。そういうことが大切なことと思えます。

本日は共々に祈願祭をお迎えさせていただき有難いことに存じます。

本日の祈願祭は小倉親教会初代教会長 桂 松平 恩師が明治三十五年、ご本部大教会所ご建築献納を発願され、明治三十九年元旦「桂 松平 発起人となり御用材献納の御用材献納の大みかげを頂きたいと存じます」との願いをお立てになり、「これに同意する者は今後始末儉約に努めて信心にらせていただきたい」と熱願された

のでございます。その願い成就のため恩師は、九州一円の農作物の大豊作、商工業の大繁盛の願いを込めてお仕えになったのが祈願祭の始まりと承っております。

その恩師の願いを我が願いと受けられた甘木初代親先生は身を命を投げ打ち御用材伐採の御用に心血を注がれたことはご承知のことと存じます。

そのご精神は二代親先生・現親先生へと受け継がれ、日夜の御神勤のおかげで私共は助かるおかげを頂いております。

本年は二代親先生の十五年祭が十二月二十三日に仕えられます。二代親先生の一番喜ばれることは、第三日曜日の家族勢参拝のクイズの最後に「私は皆さんの信心が成長してあなたたちの家族から直接お道の御用に立つようになることを一番期待して喜んで待つている」と仰せられました。

小倉親教会の信心の道を頂く甘木の信奉者として、新たな願いと共に一人一人の信心信心向上を願わせていただきたいと存じます。

とあります。「このような願いがあつ

て今日のご祭典がお仕えになられました。

私はこれを拝読させていただいて、これはどういふことかなー と思いますと、これは具体的には御建築のことですが、それは何があつてのことか、それは一口に言つて、言えるかどうかわかりませんが、「このお道のことを思う人、このお道の発展、人の助かりを思う人、そして神様もご安心になる、そういうことを思うことができる人材になつてくれよ」というお祭じゃないかと思います。

道のことを思う、ただ自分のことだけではなくて、自分のことは神様がちゃんと下さる、無駄なことはなさらぬ、大丈夫と。その上に立つて、お道のことを思わせてもらい、この道が発展する、人が助かる、そして神様が喜ばれる。

ひと言で言えば親先生が喜ばれる。自分も立ち行くという「道を思う」という人。いわゆる人材ですね、これを願つてある神様ではないかと思わせてもらいます。

『おかげ』を伝える

「子どもは玄関から上がつてはならん、もうひとつ奥の炊事場から上がりなさい。畳の上であればはならん畳がそせる（悪くなるの意）！」と祖母は言い放つていました。物を大切にすることにきわめて厳しく封建的で典型的な明治生まれの儉約家でした。

そこに嫁いできた母も、今は八十路の坂を越えて外出も付き添いが必要になつてきました。

その母が若かりし頃、お広前で少年少女会を開くのも多くの氣遣いがあつたことが思い出されます。

そのような姑に遠慮しながらも母は「若い頃、戦後間もなくガールスカウト指導者として」とか「女子青年団で」と、昔取つた杵柄とつた話をしては少年少女会を細くともしぶとく続けていました。

ですが封建色濃い家庭で子どもが主役になれるのは少年少女会のとくきくらいで、子どもの私にとっては「少年少女会」という言葉に憧れの

ようなものさえ感じていました。

そのような中にお育てを頂いて、今は何とかお道の教師とならせていただいで、少年少女会のある教会で後継御用をさせていただいています。そうして、子どもたちがより集いやすい楽しく明るい教会を目指してきました…。

五十路に至ればお道の教師であつてもおどろぎのできごとには遭遇します。どうしてこんなことが！ここから立ち上がれるかな…とさえ思うこともあります。

そんなとき、御用させていただく教会の原点にある信心に心を打たれ信心の帆を再び上げることができました。

その昔、前教会長の母堂（矢野クラさん・生涯信者）が、熱心に信心を進め入信十年目に大患で医者も匙を投げ「今度ばかりはおかげは受けられぬ」と諦めていたところに、親先生である甘木教会初代教会長 安武松太郎師は「生れる力も生きる力も

ない者が、生うましめられ生かされてきた三十三年間の親神様のご恩は知っているのか」と。「それを知りお礼を申し報いるのが真の一心」と教えられその「一心」で死の淵から助かり、後に子宝(前教会長)も恵まれました。私の好きな野球でいえば9回裏2アウトからの大逆転劇。この件が、いよいよ落胆していた私に、力を与えてくれました。

ここで教えられたことは、子ども達に伝えて行くべき大切なことは、子ども達が集う楽しく明るい教会へと努めることもあるが、願う目先の「おかげ」とは違つ「親神様のご恩」という「おかげ」ということです。

教祖様が「おかげの中に生まれ、おかげの中で生活をし…」と教えられた「おかげ」です。

以前何かの詩に「あたりまえのこと、こんなすばらしいことをみんな決してよろこばない、そのありがたさを知っているのは、それをなくした人たちだけ」と、普段、あたりま



えと感じている命の尊さが示されていました。

最近の教内出版物にも「生きることは奇跡の連続。生かされているという気持ちでどんなことにも感謝の気持ち忘れてはいかんよ」とあり、あたりまえに感じがちな命が、尊い「おかげ」であることを再発見させられました。

日頃あたりまえにして見過ごしてしまっている心の眼で見る、起死回生の底力になる「おかげ」を、伝えて行かねばと、気づかされることとなりました。

『わかば』5月号 巻頭言より
(矢野 章)

第六十三回 少年少女全国大会

参拜

第六十三回少年少女全国大会が、八月七日(土)・八日(日)金光教本部において開催されました。加治木教会からも十名が参拜させていただきます。



今年には鹿児島地方教会連合会で「ひつとべバンド」というバンド隊を編成し、大口教会・俵積田教会・上荒田教会からの参加者と一緒に十五人で「かがやけ大行進」に参加させていただきました。



「ひつとべバンド」は、毎月一回鹿児島教会に集まり練習を重ねてきました。「かがやけ大行進」では、親神様・金光様に健康のお礼を申し上げる祈りを込めた元気な行進ができました。

今年には、祭場が耐震補強工事中で使えませんでしたので「わかば祭」は臨時に会堂前に設けられた大テントの下で仕えられました。



八日の閉会式後、午後三時半に金光町を出発し、この日は周南市の徳山駅近くのホテルで宿泊させていただきました。



九日は、下関市の水族館「海響館」を見学し、海の生き物の多さに驚かされ多くの世界中の珍しい展示物は、一時間半と予定していた見学時間では足りないほどでした。イルカショー

「や関門海峡の生きた魚達は特に印象的でした。」



その後、隣接する下関市の魚市場「唐戸市場」へ行き関門海峡を眺めながら魚料理の昼食を頂きました。皆様のお祈りをいただき、午後五時半頃、例年よりずいぶん早く、けがあやまちなく加治木教会へ到着させていただきました。有難うございました。



リーダーミーティング兼

青年会

八月二十二日夜開かれた、リーダーミーティング兼青年会は、少年少女全国大会参拝の反省会でした。反省の内容として挙がってきたことは、

バンド隊の楽器や人数が増えるといい。

会堂地下での仮眠は眠り辛い人もあったようだ。

十人乗りのレンタカーは、荷物はたくさん積めたがリクライニングが効かず、座席が少し硬かった。

バンド隊の演奏を加治木太鼓踊りのように伝統芸能を考えてみては。

出発を早め、前夜の集いに参加できるようにした方が、子ども達には楽しい良い思い出になる。

などの意見が出ていました。

来年はよりよい参拝ができることが望まれますが、まず青年会員それぞれが信心の成長をおかけいただいで、信心の眼で物事を観て行くことがで

きるようになることが大切なことです。

少年少女や青年の信心が育ち、青年は指導者としていかにあるべきかを自分に問うきっかけとなり、よろこびの「お礼参拝」の本当の意味がわかるようになることが願われます。

あしあと

加治木教会行事記録

8月

- 1日 加治木教会 祈願祭 11時
- 3日 御本部年代別キャンプ出発
- 4日 水戸(土)御本部年代別キャンプ
- 7日 少年少女全国大会 出発
- 8日 少年少女全国大会
- 9日 少年少女全国大会 帰着
- 11日 水 齋掃 御用 10時
- 12日 木 齋掃 御用 10時半
- 18日 水 23日(少)遠征富士登山
- 19日 木 20日(金)甘木 教師若婦人会
- 21日 土 齋掃 御用 10時
- 22日 日 月例祭 共励会 13時半
- 26日 木 鹿兒島地連 教師会 20時
- 29日 日 女性の集い(三山ホール)
- 31日 火 齋掃御用 10時

ご霊神様のおまじ

九月

中島時彦之霊神	昭和62.09.02
平島信彦之霊神	昭和20.09.03
前田満之霊神	昭和20.09.03
庄村ミサ之霊神	昭和42.09.05
桐野仲太郎之霊神	昭和10.09.09
汰木スエ之霊神	昭和55.09.12
大重為廣之霊神	昭和24.09.22
西本八子之霊神	平成17.09.25
桐野整之霊神	昭和45.09.28

「先祖のご霊神様の、現世・幽冥かくりよでのお働きあつての今日の私たちであります。立日の月には、故人を偲び、玉串を奉てんしてお礼を申し上げます。教会では、十日の月例祭で、霊前での玉串の奉てんを準備しています。」

※教会 行事予定表やお知らせなどのQRコードです。ご利用下さい。

行事予定表



教会ブログ『あしあと』



九月四日(土)～五日(日)

午前九時出発 午後三時頃帰着

甘木親教会(手続き・関係教会)

信徒研修の集い

九月二十三日(祝) 十時半より

秋季霊祭 奉行

※祭典後、教話、茶話会。

(霊祭申込用紙、ご記入の上御結界へお届け下さい)

青年のひろば 於・仙寿の里温泉

九月二十五(土) 十九時より

二十六(日)

※講話 二十五日十九時～

講師 門司港教会 在籍信奉者

直江 和隆 氏 北九州教区 青年
フォーラム 副委員長

十月二日(土)～三日(日)

生神金光大神御大祭参拝

出発 二日 午前八時頃

帰着 三日 午後八時半頃予定

交通機関 大型貸切バス

教会行事

9月

1(水) 報徳月例祭 10時半

4(土)～5(日) 甘木親教会 信徒の集い

6(月)～7(火) 理 事 会

9(木) 齋掃御用 10時

10(金) 生神金光 月例祭 10時半

14(火) 若婦人会 13時半

21(火) 齋掃御用 10時

22(水) 月例祭・共励会 13時半

青年会 ウィンダム(ミディンダ) 20時

23(祝) 秋季霊祭 10時半

25(土)～26(日) 連青年のひろば

30(木) 齋掃御用 10時

(未定) 少年少女会 10時半

少年少女会 青年会 若婦人会は、都合により日程を
変更することがあります。随時連絡しますのでお気を
付け下さい。

10月

1(金) 報徳月例祭 10時半

2(土) 御本部御大祭

3(日) 団体バス参拝出発 8時

9(土) 齋掃御用 10時

10(日) 生神金光 月例祭 10時半

12(火) 若婦人会 13時半

17(日) 川内教会記念祭

大隈教会記念祭

21(木) 齋掃御用 10時

22(金) 月例祭 共励会 13時半

青年会 ウィンダム(ミディンダ) 20時

25(土)～26(日) 連青年のひろば 連

30(土) 齋掃御用 10時

31(日) 鹿兒島教会 御大祭

少年少女全国大会
まごころ運動の結果
鶴折り 627羽
平和の 374枚
古切手 5枚
使用済みカード 5本
えんぴつ 5本
ご協力ありがとうございました。

鹿兒島地方教会連合会

ひつとべバンド

みなんで参加しましょう!

※月一回程度、練習日随時連絡。